

しりべしツーリズムサポートニュース



Vol.89

平成 27 年 7 月

「後志収穫祭 2015」参加事業者&団体は43となりました！

今年は喜茂別、仁木からと新たな参加もあり、野菜・果物が盛り沢山な収穫祭となりそうです。集客、注目にアイデア捻ると勝ち組となるかも。キャラクターも「運がっば」「もんすけ (HBC)」「マナーティ (NEXCO)」「ウサパラ君 (喜茂別)」「たら丸 (未定)」「チロベシ」と沢山集まり、スーパーカー数台も (札幌での10月イベントPR) 集まり、家族連れには喜ばれそうです。



←新聞紙面に紹介されてから気になる喜茂別のアスパラスープ

◎「しりべしアグリツーリズム」始まります！



小樽商工会議所が行っている事業ですが、WGへSTSも参加しています。昨年も開催されたモニターツアーをブラッシュアップさせ7月～1月の間に10回開催することになりました。昨年は数回、参加検証しましたが、農園主から直に話を聞き、自らもいで食べることがこんなに感動されるのか～とちょっとビックリ。シメにはテーマ食材を使ったお料理が、イタリアンやフレンチとなって食べられるのですから女性には大人気です。問題は開催しているというPR。昨年はTV紹介され番組終了しないうちに満杯となり困ったもんでした。ちょうど良い手段ってないのでしょうか？裏へ続く。。

第1回目、第2回目はテーマ「トマト」7/4（土）、7/16（木）と開催されます。

12:45 小樽運河ターミナルを出発し、中野ファーム（余市）→紅果園（仁木）→ニッカ（見学・試飲）→ル・キャトリエムにて旬の特別メニュー（夕食）19:00 現地解散（お土産付き）

夕食を含めたツアー料金は5,400円。参加申し込みは株式会社シーピーツアーズ（011-221-1122）

◎NEXCO「北海道ハイウェイ Show Area」



7月18日（土）、19日（日）10:00～16:00 輪厚PA（上下）にて開催され、余市、仁木、小樽、赤井川の事業者が参加します。

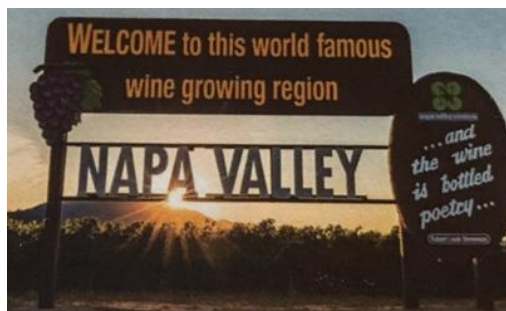


新連載！

なかなかマニアック、ツウ～な「しりべし酒すき肴すき通信」が時々アップされます。

～壮大なロマン～

余市から仁木にかけてのワインバレーを作ろうという壮大な夢物語のような話が現実味を帯びてきた。日本で3位内に入るという広告代理業グループが仁木町内に大規模なワイン関連施設を10億円投入して作るという。ワイン用ぶどう畑を鑑賞し、醸造施設見学もでき、ガーデンがあり、レストランもあり、CW・ニコルさん監修による自然環境と調和した森も作るという。あまりに話が壮大すぎて信じがたいと思われるが代表家族の住民票は既に仁木町に移されたそうである。転作によってワイン用ブドウ栽培を始めた農家さんの仕事を長年見ていた“農業”が“事業”として展開されるということなのだろう。6/20、余市町公民館で開催されたCW・ニコル氏講演、余市・仁木地区バレー構想を拝聴し、出会う人の縁の不思議と、ひょっとして竹鶴政孝氏が余市に来て、ウイスキーを作り、スコットランドのような景色と環境を作り始めた80年前をウイスキーからワインに代わって“現在”という時間の中で見ることになるのではないかと、20年後、30年後にはナパに匹敵する余市・仁木ワインバレーを誇りに思い、楽しむ自分が居るかもしれない。



ワイン特区、酒名表示改訂など背を押す風は次々と生まれるワイナリーにも、ワイン用ブドウ栽培最適地の気候風土に恵まれた地区に新たなロマンを与え、ニッカウイスキーを支えた余市川の恵みが源流に有るように思える。

【豆知識】家族や個人で経営している小さなワイナリーをブティックワイナリーというそうで価格も若干高め、

じっくり手塩にかけられたワインが多く、個性的なワインを醸造するそうです。1976年、パリ万博のブラインドテイスティングで第1位となりナパワインの知名度と人気は飛躍的に高まり、今は4万、5万という価格にもなっているそうです。

【編集後記】ナパバレーの話や、余市川沿いバレー構想は酒好き、ワイン好きには、ワクワクする話で、テーブルワインにコック付き安価ワインしか飲めない貧乏、不遇さを嘆きながらも、20年後には優雅に飲んでいるかもしれない・・・などと夢を持つ（i）いいね！で連載するかな～